

# 極楽寺だより

三隅下野波瀬 3633  
電話 0837(43)0625

雨の季節には、仏さまの教えを聞き、

静かにわが身をふりかえる

「安居会」「夏安居」という行事が、

お釈迦さまの頃から伝わっています。

田植時期の疲れを、お法の水で流

そうという、ゆかしい夏の法座です。

お誘いあわせ、お参り下さい。

# 夏法座のご案内

日時

六月二十三日(水)

昼一時半 夜七時半

六月二十四日(木)

昼一時半

講師

俵山 正福寺 前任職

上原 泰 教師

夜の法座は、昼間お勤めの方、特に  
壮年男性の方にお参りいただきた  
いとの願いで開いております。  
九時終了。お待ちしております。



今年の三隅地区親鸞聖人  
鑽仰会法会は、

九月六日(月)

七日(火)

上ゲ 徳照寺にて勤まり  
ます。

ご講師は、

大分県 藤井邦彦先生

をお招きします。

どうぞ、ご参拝下さい。

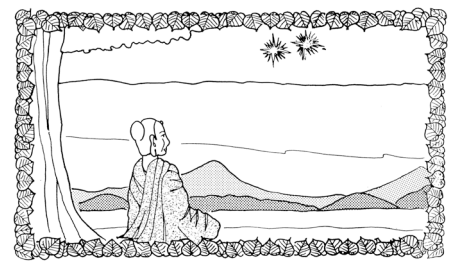
《後日、ご案内します。》

主催 三隅地区親鸞聖人鑽仰会



大きな声は  
聞こえてくるが  
意味ある声は  
聞こえているか  
極楽寺揭示伝道

極楽寺揭示伝道  
けいじてんどう



6月の言葉

テレビをつけると、たくさんの方が聞こえてきます。にぎやかな声、騒がしい声。笑い声や楽しい声、そして派手な声。それらは、時には耳触りよく、時には自分の都合よく聞こえてきます。しかし、ささやくような声やつぶやくような声。悲しみを込めた声、地味な声、落ち着かせようとする声。そして耳に痛くても、自分の人生を振り返らせるような声は聞こえているのでしょうか。知り合いのテレビディレクターによると、刺激的な声や攻撃的な声、勇ましい声に対しては視聴率が上がるけれども、「落ち着いて、ゆっくり考えましょう」という声では視聴率はとれないとのこと。確かに、政治家でも毒舌や過激であるほど、注目は集まり、人気も上がります。南無阿弥陀仏のお念仏は、自分に都合のよい呪文ではありません。願いが適うわけでもありませんし、悪霊を退散させるわけでもありません。お念仏に込められた深い心を聞くと、時には耳触りの良くない、自分の愚かさや弱さが聞こえてきます。しかし、そこにこそ、私の人生にとって本当に大切な意味が込められていると教えられます。私は、どんな声に耳を傾け、どんな声に耳を塞いでいるのでしょうか。深く見つめ直していきたいものです。

極楽寺だよりは年6回の発行ですので、紙面ではご紹介できない月の言葉をここに掲載いたします。特に5月の言葉は、揭示しながらも自分の胸に突き刺さってくる言葉でした。反響も、一番大きいものがありました。

5月の言葉

腹立たば  
鏡を出して  
顔を見よ  
鬼の次女が  
ただで見られる

極楽寺  
揭示伝道

3月の言葉

今月の法語  
亡き人を  
案ずるあなたが  
案じられている

極楽寺  
揭示伝道

2月の言葉

今月の法語  
喜びのとき  
悲しみのとき  
感動のとき  
その一瞬のときの連続  
それが  
生きるといふことか

浅田正作  
極楽寺  
揭示伝道

1月の言葉

今月の法語  
私がかかる  
願いは  
よくわかるが  
かけられてる  
願いは  
なかなか  
気づけない

極楽寺  
揭示伝道

# 自然がない

## 住職

「都会には自然がない」とよく言われます。ということ、近頃はビルの屋上を利用して、そこに畑を作ったり、植物を植えたりと、「緑化計画」なるものが進められているようです。ところが、解剖学者の養老猛司さんは、「自然がない」とは単なる「植物がない」ことではなく、「生老病死」がないことを言うのだと指摘されています。考えてみれば、生まれて、古い、病気になる、やがて死んでいくことは自然なことです。ところが、私たちはその自然なことを不自然なこととして考えているのだと言われるのです。マンションのエレベーターには、棺桶をのせるスペースはありません。つまり、生活空間に「死」というものが入ることを許されないことを前提に作られた建物に、たくさんの人が住んでいるというわけです。

二〇〇九年八月、製薬会社・協和発酵キリンが、二十代から六十代の男女千人を対象に「いのちの大切さに関する意識調査」をインターネット上にて実施しました。その中に、あなたが「あと一ヶ月で人生を終えるとしたら、何をやるか」という質問がありました。皆さんは、何をされますか？そして、どんな回答があったと思われませんか？最後だからと、めいっぱい自分が楽しむための時間にする

意見が多いかと思いきや、1位はなんと・・・「親孝行」。そして、2位には「お世話になった人に恩返しをする」。3、4位には「世界中を旅行する」「食べたかったものを食べる」が入りましたが、5位には「疎遠になった友人に会う」6位には「社会貢献活動をする」と、人とのつながりを意識させる答えが、数多くありました。つまり、私たちは「死」を意識することで初めて、自分の人生にとって何が一番大切なのかを考えさせられるのでしよう。「死」を見つめるとは、「生」こと見つめることなのです。現代とは、「死」という自然なことから目を逸らしたことで、逆に「生きる」ことが見えなくなってしまう時代なのかもしれません。

「お寺になぜ若者が来ないのか」をいろんな方に相談すると、よく「お寺には、死というイメージがあつて暗いからではないか」という意見をいただきます。だからといって、私たちは「死」を隠すわけにはいきません。そこにこそ、本当に「生きる」ことを見つめる場があるからです。「お寺には、死のイメージがあつて結構。そんな場所がないことが、実は不自然なことなんだ。」と、住職として胸を張って言いたいのです。



住職として胸を張って言いたいのです。

# 第28回 児童念仏奉仕団のご案内

大津東組(長門・三隅地区の浄土真宗寺院)では、夏休みを利用して小学三年生から中学一年生を対象に、ご本山参りを企画しております。是非ご参加下さい。



◆期 日 2010(平成22)年

7月28日(水)

～7月30日(金)二泊三日

◆対 象 小学三年生～中学一年生

◆参加費 38,000円(極楽寺より、些少ですが補助が出ます。)

◆申込み 7月10日までに極楽寺へ

◆日 程



大阪の、ユニバーサルスタジオ  
ジャパンにも行くよ!

7月28日	長門 ⇒ 新幹線 ⇒ 京都 (朝7時半頃出発) (西本願寺・京都散策)
7月29日	京都⇒大阪ユニバーサルスタジオジャパン ⇒大阪南港よりフェリー(船中泊)
7月30日	新門司港(朝8時頃) ⇒ 帰宅(10時すぎ)



◆極楽寺からは、若住職が引率として参加します。

※詳細は、極楽寺までおたずね下さい。

## 謝 々

### プルトップ回収ご協力についての御礼



いつも、プルトップ回収にご協力いただき、まことにありがとうございます。今回も69.6kg(約139,200個!)集まりました。プルトップの収益金は、県内各福祉施設の備品購入のために寄付されます。これからもご協力よろしくお願ひします。

### 世話人の交代について

1997(平成9)年より、室生地区世話人を勤めて下さった上田治男さん(12年間在任)に代わり、岩本国久さんが新しく世話人を勤めて下さることになりました。どうぞ、よろしくお願ひします。上田さん、長い間有り難うございました。